

沢池小だより



茨木市立沢池小学校

令和4年(2022)年1月31日 2月号

マラソン大会を終えて

先週、低・中・高学年のマラソン大会を実施することができました。ご来場いただいたみなさまには、いっしょけんめい走るお子様の姿をご覧いただくことができたかと思えます。ご来場ありがとうございました。

マラソン大会は3日間とも比較的暖かい日となり、中には汗をかいて走る時間帯もあり、やはり持久走はどの学校でも寒い時期に実施するところが多いのだなと思えました。コロナ禍でなくとも、風邪・インフルエンザの流行する時期にあたり、走ることで心肺機能を高め、免疫力の向上も図る「体力づくり」の一環として、1年生の600mから5,6年生の2,000mまで、走る場を設定しています。

野生動物は生きるために(獲物を捕るために)走り、(捕食者から)生きのびるために走っています。ヒトもおよそ180万年前から直立二足歩行を始め、走ることも始まりました。ほかの動物と比べ、かかとの骨が大きくなって走る際の衝撃を和らげるように進化し、エネルギー効率のよい走り方ができるようになったそうです。狩りをし、捕食者から逃れ、世界中にヒトが増え広がることにもつながっていったと考えられています。

走ることで脳が鍛えられるという研究もあります。化石の研究からは走り始めたころから、ヒトの脳が大きくなり始めており、最近の研究では走ることで、脳内の記憶を担当する神経細胞が増加するとか、認知機能がアップし抗ストレス効果も認められるとも聞きました。10分程度のランニング、それもゆっくりでよいし、インターバル走(速く走ることと歩くことのくり返し)で効果があるとか。ハードなランニングはかえってストレスが増すとも聞きました。

この1月、沢池小の子どもたちはいっぱい走りましたので、今、かしこくなっているのかなぁと思えました。

ただし、これらの効果は「自発的に走ること」が前提だそうです。今、生きるため以外に自発的に走ったり、スポーツを楽しんでいるのはヒトくらい。校区内や万博公園外周で走っている人はたくさんおられます。それぞれが目標を持って走っているのだなと思えます。走り続けることで、体内の新陳代謝を促し、これが健康・長寿につながるという研究もありました。

走ること、体を動かすことが苦手、きれいな子どももいると思います。でも、内心走るのは嫌だけど、楽しそうに走る友だちにつられていっしょに走り、走ったあと何かよいことが実感できていたらと願っています。走る代わりに別の運動で体を動かすのもよいと思います。まだ小学生だし、脳だけ鍛えるより、体ごと成長してほしいと思いました。



校長 向井 啓氏

2月行事予定

※新型コロナウイルス感染対策のため、行事等を延期・変更・中止することがあります。

日	曜	主要行事
1	火	
2	水	沢池交流会
3	木	
4	金	SC 来校
5	土	
6	日	
7	月	木曜日の時間割 クラブ
8	火	
9	水	避難訓練 引き渡し訓練
10	木	月曜日の時間割
11	金	建国記念の日
12	土	
13	日	
14	月	木曜日の時間割 委員会
15	火	なわとび大会
16	水	PTA 役員会
17	木	月曜日の時間割
18	金	
19	土	PTA 実行委員会(オンライン)
20	日	
21	月	低学年 参観・懇談会
22	火	中学年 参観・懇談会 SC 来校 なわとび大会予備日
23	水	天皇誕生日
24	木	
25	金	高学年 参観・懇談会
26	土	
27	日	
28	月	

◇沢池交流会(児童会行事)
運動場にて各学年1クラスずつの単位で遊びます。

◇緊急時引き渡し訓練の中止
まん延防止等重点措置期間中でもあり、ご予定いただいていた方には申し訳ありませんが、校舎内の密をさけるため中止とします。

◇時間割変更
校内研究授業等のため、2月7日・14日の月曜日と、10日・17日の木曜日の時間割をそれぞれ入れ替えます。
4年生の下校時刻が、
7日(月):6限クラブのあと下校
10日(木):6限授業のあと下校
14日(月):委員会のない児童は5限で下校
17日(木):6限授業あと下校
となりますのでよろしくお願いいたします。1~3年生、5,6年生の下校時刻は変わりません。

◇授業参観・学級懇談会
学校だより1月号で日程をお示ししていましたが、感染拡大中の今、教室の密を考慮して、【2月20日までのまん延防止等重点措置が】
A 解除される場合=参観・懇談会を実施
B 延長される場合=参観は中止、懇談会は実施
C さらに状況が思わしくない場合=どちらも中止と考えています。今後の報道にもご留意ください。
学校で実施の有無を決定ししたい、メール等でお知らせします。

3・4月の予定

地区児童会 3月2日(水) 卒業式前日準備 3月17日(木):5年生以外、給食後下校
卒業式 3月18日(金) 修了式 3月24日(木)
入学式 4月7日(木) 始業式 4月8日(金)

◇児童の出席停止、学級閉鎖などの変更

1月に入って先週までに学級閉鎖が68学級、複数の学級が閉鎖になり11学年が学年閉鎖、複数学年が閉鎖になって6校が臨時休業になっています。(市ホームページより)

沢池小では学級閉鎖がないまま1月を終えられました。児童のがんばりとご家庭での健康管理のおかげと思います。(誰がかかってもおかしくないし、他校でも同じように感染対策に取り組んでいることを思えば、運もよかったと言えるかも知れません。)

先週末1月28日付け、教育委員会よりの文書をお渡ししました。新型コロナウイルス感染に関して、「登校しない場合」や「学級閉鎖」のルールが大きく変わっています。以下にポイントを示しますのでご確認ください。

1. 児童の登校を見合わせていただく(出席停止となる)場面について

(1) PCR検査陽性のほか、抗原検査など別の検査で陽性となった場合が追加されています。

また(ご家族がすでに陽性などで)児童に発熱や咳の症状が出た場合、検査をせず医師が新型コロナウイルス感染症と診断する場合も追加されました。

検査の結果待ちの期間はこれまで同様、登校を見合わせてください。

(2) 保健所から濃厚接触者とされた場合のほか、学校やその他お子さんが出入りしたところから濃厚接触の可能性ありとして、自宅待機をお願いする場合が追加されています。

保健所は「**マスクをつけず、15分以上、1m以内に陽性者といっしょにいた場合**」を濃厚接触者と判断しています。学校で陽性者が出た場合、数日前にさかのぼって、このような状態の児童がいなかったかどうかふりかえります。

学校で特に給食と体育の授業などについては、次のようにしています。

- ・学校では給食の食事時間マスクをはずすので、前向きに座り、しゃべらないよう指導しています。
- ・体育の授業の原則は「マスクを外す」となっていますが、
 - ① マスクをつけていてもできる活動内容を工夫する。(話し合い活動などでは着用)
 - ② 呼気のあがる運動ではマスクを外すことを明示し、15分以内に納める。など、濃厚接触にあたらないように工夫しています。
- ・休み時間はマスクを着用してもらっています。マスクを外さなければならないような激しい運動は、制限が解除されるまで控えてもらいます。

(3) 同居家族等が濃厚接触者となった場合の児童の対応が異なっています。

昨年10月よりご家族が濃厚接触者となった場合、児童も登校しないようお願いしてきましたが、この項目が今回なくなっています。(保健所の見解として「濃厚接触者の同居家族は濃厚接触者にあたらない。」とあります。)

ただし、今後ご家族の濃厚接触者のため児童を「念のため」休ませる場合、引き続き欠席ではなく出席停止とします。

2. 学級閉鎖ルールの変更

これまで陽性児童、濃厚接触児童など、2~3人いれば5日間の学級閉鎖となっていました。これが直近3日間の陽性者及び濃厚接触者等が、学級において15%以上確認された場合、当該学級のみ原則3日間の学級閉鎖となりました。

- ・直近3日間とは「今日、昨日、おととい」を指します。
 - ・15%とは児童数33人以下：5人 34~40人：6人 40人以上：7人になります。
- その他、教育委員会等で必要と判断した場合とあり、この基準にあてはまらなくとも閉鎖する可能性はあります。

- ・これまでのように2~3人の陽性者、濃厚接触者では学級閉鎖にならないようになりました。
- ・このことが私たちの“ゆるみ”にならないようにしていきましょう。
 - 基本的対処の徹底：マスク、手洗い、密を避ける、部屋の換気をする・・・
 - 基本的な生活習慣：早寝・早起き、十分な睡眠、栄養をとる、休養をとる・・・これからも同じようにやっていきましょう。

一昨年前から私たちは「あさって発熱したり陽性となる児童が、今日は無症状で元気に登校している」かもしれないと捉え、感染対策の指導を続けてきました。これは今回のルール変更があっても変わりません。どうぞご家庭でも同じように、よろしく願います。

また、お子様の放課後、休日の行動についても同様です。習い事先もマスク、手洗い(消毒)、換気など、ずいぶん気をつけていただいているとは思いますが、お子様から意識を持って行動していただくようご指導ください。お友だちの家にあがる(お友だちを自宅にあげる)場合も同様によろしく願います。

なお、今後も一定期間出席できない児童には、ポスティング、オンライン(コミュニケーション、授業ライブ、放課後の補習・・・)など、学校とつながる手立てを考えます。ご本人、ご家庭と相談のうえ、できる範囲でいろいろとやっていきましょう。

◇教職員が休むことにもご理解ください

私たち教職員も感染しないように努めていますが、家族が陽性者や検査待ちとなった場合のほか、教職員の子どもの保育園が休園になったり、通っている学校が学級閉鎖になるなど、子どもの監護のため通常の勤務ができない場合があります。場合によっては数日~数週間におよぶこともあります。

そのため自習や時間割変更、複数クラス合同での授業、別の教員による授業など、その時その時の対応をとることがあります。いつもの学級担任や教科担任が授業を行えないこともありますが、どうぞご理解いただきますよう、よろしく願います。